

刈谷市

所属議員

黒川智明、佐原充恭、中嶋祥元、鈴木浩二、深谷英貴、伊藤幸弘、

産業目線

【活動項目】③中小企業の人材確保

【活動テーマ】外国人労働者の雇用支援

到達目標

1. 外国人雇用関連に特化した研究会やセミナー等の開催 … 開催回数1回/年以上、および、企業への講師派遣の実施。
2. 外国人実習生を含めた「人材確保事業」および「中小企業人材育成支援事業」の活用促進 … 補助事業達成目標の完遂。
3. 外国人雇用関連の支援制度の構築。

前回まで
活動状況

中小企業コンシェルジュによる企業訪問結果では、人材関連が毎年最上位の課題となっており、外国人の技能実習生をはじめとする外国人労働者の雇用や人材育成支援は重要な視点。現在は、コロナ禍によって外国人の就労人口および技能実習生も減少しているが、コロナ収束後を見据え、外国人雇用に対する企業ニーズや支援のあり方について現状把握を実施し、支援施策の目標設定や新たな拡充支援等についての要望を検討。

今回
具体的活動今回の進捗
【○】

◎…予定前倒し
○…予定通り
△…遅れあり

1. 外国人雇用に関するノウハウ等支援の充実。

- ①「外国人雇用研究会」を2019年度6月に創設⇒商工会議所主体で1回/年以上の開催を協議中。
⇒ R1年度は1回実施し、30社が参加。R2年度はコロナ感染により休会となった。
- ②「刈谷モノづくり大学」専門講師による外国人雇用に関するアドバイザー派遣事業のPRの強化と派遣活用目標を設定するなど、積極的な活用促進を図るよう要望。
⇒ R2年度に「外国人雇用セミナー」を1回開催し、13社が参加

2. 外国人への就労サポートおよび人材育成支援策の拡充。

- ①外国人就労者の就労相談への対応力強化に資する庁内関連部署の連携強化を提言。
⇒ コロナにより外国人の労働相談が前年度比1.6倍。ハローワーク・労働基準監督署に繋げている。
- ②外国人技能実習生向けの研修受講費補助事業（人材育成支援事業）の活用拡大を提案。
⇒ R1年度は3名が補助金活用、R2年度は250万円を予算措置したが、コロナにより未活用

3. 刈谷市、商工会議所、企業の連携による必要な支援、仕組みの見直し提案。

- ①支援制度は在るが、支援制度の活用状況の低迷を受け、事業者の要望と合致しているのか、また、短期的・中長期的な支援のあり方や目標設定・進捗状況管理について検討を図るよう協議中。
⇒ コロナ禍によって行政と事業所の協議は難しく、中小企業コンシェルジュによるヒヤリングを継続

【図や活動の様子が分かる写真など】



令和2年 10月15日 開催
『外国人材活用の知恵と工夫』

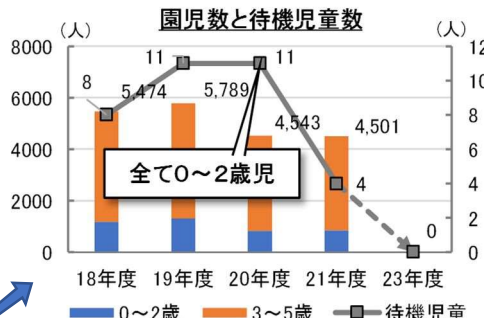
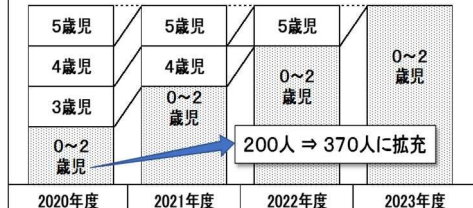


今後の活動

コロナ収束後を見据え、外国人雇用に関する雇用主の研修機会の設定や実習生向けの人材育成補助等を会派要望し、制度充実を図る成果は実現できたが、コロナ収束の先行きが見えない現況下、渡航制限による新たな雇用問題について状況把握する必要がある。今後も中小企業にとって必要な支援のあり方について調査研究し、外国人雇用環境の充実に尽力していく必要がある。

刈谷市	所属議員	黒川智明、佐原充恭、中嶋祥元、鈴木浩二、深谷英貴、伊藤幸弘、
-----	------	--------------------------------

組合員目線

【活動項目】⑤子育て・教育		【活動テーマ】待機児童対策と祝日保育等の拡充	
到達目標	1. 幼保連携型幼稚園に向けた課題を明確にし、P D C Aサイクルで改善策の提案と実行を促す。 2. 「子ども子育て支援事業計画」の仕事と子育ての両立支援についての進捗フォローと待機児童解消を図る。 3. コロナ禍での保育利用のニーズやスタイルの変化による課題解消を図る。		
前回まで 活動状況	待機児童対策として、本年度より全幼稚園を「幼保連携型認定こども園」に移行、令和3年度より4か所の公立保育園が0～2歳児に特化する「乳児園」への移行が始まるが、保育施設の枠組みの変化に伴う課題調査およびコロナ禍に伴う保育の問題・課題に対する要望を実施。		
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】 ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	「12月議会一般質問」において、本活動テーマの内容を取り上げ市に要望(12月/2日)		【図や活動の様子が分かる写真など】  4か所の公立保育園を乳児園化（0～2歳児専用園）に移行し、0～2歳児の待機児童ゼロへの受け皿拡充  ※移行に伴い全幼稚園を保育園並みの預かり時間延長(幼保連携型認定こども園化)を実施し幼児園に改名⇒4園の3歳児以降は幼児園に転園。
	1. 幼保連携型幼稚園化への課題を明確にし、改善策提案と実行を促す。 ①乳児園化への移行による兄弟別園入所問題の解消を要望 ⇒ 入園申込時に別園としない対応を実施。 ②幼児園には送迎用の駐車場問題解消を要望 ⇒ 今年度中に駐車場問題の解消を図る。 ③幼児園化によってP T A活動が困難な保護者も加わるため、共存できる活動の見直しを要望 ⇒ P T A組織を「子ども未来サポーターズ」とし、共存できる活動組織に改変。 2. 子ども子育て支援計画の進捗フォローと待機児童解消を図る。 ①祝日保育施設および利用対象の拡大を要望 ⇒ 公立2園と民間1園で受け入れ拡大を実施。 ②待機児童は20年度11名(0～2歳)発生していたが、民間力も活用した保育施設の増設および 幼稚園化による段階的な保育園からの転園促進を着実に進め、21年度の待機児童は4名に減少。 ③22年4月1日～定員90名の民間認可保育園が開園 ⇒ 更に待機児童解消に大きく寄与できる。 3. コロナ禍での保育の運用変化の課題解消を図る。 ①感染防止の徹底と衛生備品の完備を要請 ⇒ 園の感染防止ガイドラインに沿って対応継続中。 ②保護者テレワーク等による保育利用基準の見直し要否の検討を要望 ⇒ 在宅でも受け入れを実施中。		
今後の活動	上記要望事項について、一般質問や予算要望等を行い進捗フォローした結果、待機児童および祝日保育の改善に一定の成果を上げることができた。 組合員目線の中でも子育て支援の充実は、今後も高いニーズがあるものと認識している。今回のテーマ以外にも子育てしやすい環境づくりに向け、 組合員からの情報収集に努め、改善につなげる活動に尽力していきたい。		

(参考) 刈谷市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

刈谷市取り組み項目	③人材確保
刈谷市取り組みテーマ	外国人労働者の雇用支援
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
【背景】 ①中小企業における経営基盤強化等が重要 ・中小企業コンシェルジュを派遣し、業務改革等を実施のきっかけづくり ・研修費補助等による人材育成支援 等を実施しているが、企業が生産性を確保しながら、人材育成をすることが困難な状況 ②改正入管法により、外国人労働者が増える事が予想されると共に、長期間の労働と技術習得が重要 →実態は離職率が高いとされている ③高校生、女性、外国人全てにおいて人材を確保・定着、育成することで企業経営基盤の強化につなげる必要がある	①外国人雇用のノウハウ等の指導 ②外国人のサポート人材の確保と支援策の提案 ③刈谷市、商工会議所、企業の連携することで、必要な支援、制度設計 →上記の実現に向けた、我々の立場としての現状把握 一般質問等による行政への訴求を実施する

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

〇〇市取り組み項目	⑤子育て・教育
〇〇市取り組みテーマ	待機児童対策と祝日保育等の拡充
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
【背景】 令和元年度より、0－2歳児専用保育園（乳児園）を設置し、全幼稚園を延長保育の拡充し、幼児園とした。しかし、下記の点にて課題が予想される ・兄弟で別な園に通園する必要が発生する可能性が高まる ・幼稚園には送迎用駐車場がない。延長保育の希望者は、自動車での送迎を希望するが多い ・祝日における幼児園の開園・・・祝日保育園の拡充が必要 ・少子化が懸念される中で、保育ニーズをしっかりと捉えて、必要に応じ民間力も活用しなければならない	①試行での課題を明確化すること。PDCAサイクルで改善策の提案と実行を促す ②子ども子育て支援計画の精査 ③コロナ禍での新生活様式でテレワークが増加。通常保育での実施が必要 など、一般質問等にて訴求とフォローをしていく